

自分のお箸 持っていますか？

仕事で外食するときや、外出先で食事する時必ずと
いって使うのが割り箸です。今日はそんな割り箸につ
いて考えてみました。

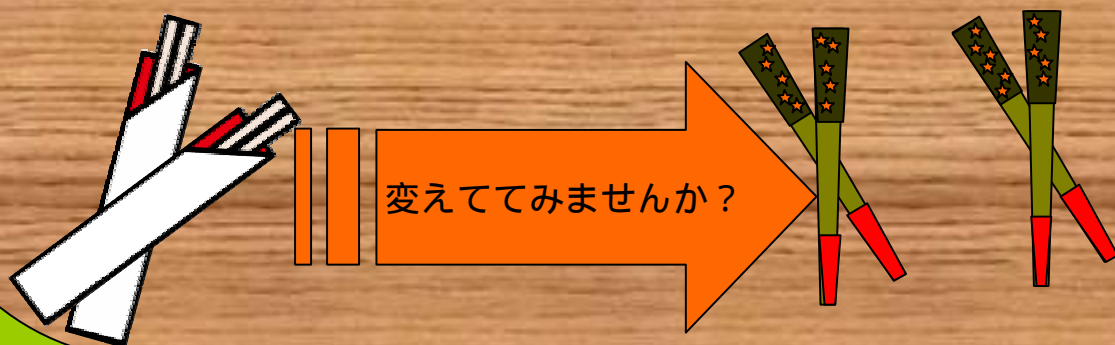
みなさんご存知ですか？

日本では一年間に約257億膳使われています。これ
を日割り計算すると一日約7千万膳使われ、一人当り
で換算すると約200膳です。（標準的な2階建木造
住宅でおよそ2万棟分の木材になり、単純に計算して
一棟分で約125万膳、一人約200膳ですから6,
250人分の割り箸で木造住宅が一件建てられる計算
です。）

彦根市の人口は111,079人（平成19年1月末
現在）ですから、年間18棟もの家が消費されている
計算になります。

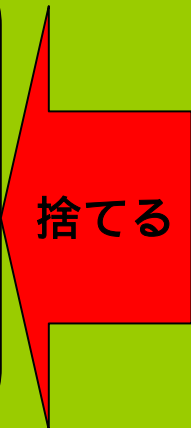
また現在、日本での割り箸は、そのほとんどが輸入さ
れています。

（割り箸の97%が輸入割り箸で、内99%が中国か
らの輸入されているのが現状です。（国内生産は3%
です。）（林野庁調査数値））





約200膳

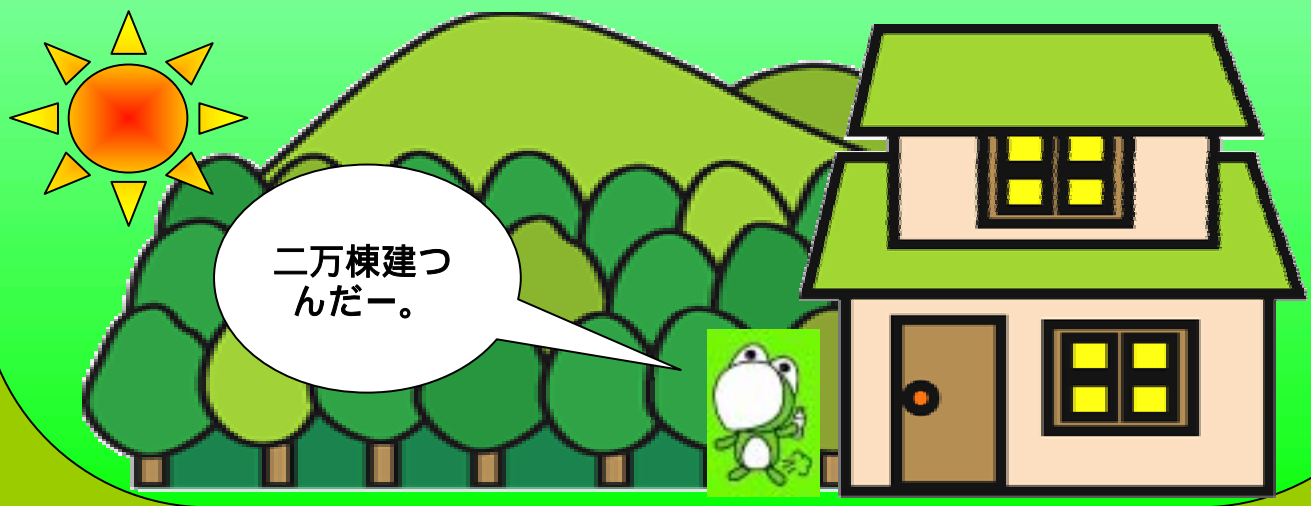


一人年間約200膳の割り箸を捨てています。



彦根市のごみ行政方針は「ごみの減量化」を推進していくことです。その取り組みの中でもごみの約8割を占める可燃ごみの減量を効果的に進める検討をしており、今回は「割り箸」について着目してみました。使用済み割り箸もリサイクルされている場合もありますが、現在彦根市では割り箸のリサイクルのための回収方法がないため、可燃ごみとして収集、焼却後大阪湾で埋め立て処理をしています。リサイクルより効果的なものとして「割り箸の不使用」がありますが、外食時に自分の箸を所持されるいわゆる「マイ箸」愛好者が増え、今、ブームとなりつつあります。

外食時、自分の箸を使い、店の割り箸を拒むというおしゃれが流行っています。自分が地球を救う役割を実践している姿をすてきだとおもいませんか。



二万棟建つんだー。

このページを見て、自分もやってみようと思われる方がおられることを大いに期待しています。

最近、「箸はけっこうです。」と言うとすぐに「ありがとうございます。」と答えていただけのお店が増えてきました。
そんな店舗は、環境に敏感な店舗といえるでしょう。

ごみの減量とは大きなことではありません。
自分に身近なことから始めることができます。

お箸ひとつであなたも今日からごみ減量のプロ！
ごみの減量化にご協力ください。

今日紹介させていただきました、「マイ箸」の実践、「生ごみの捨てる前にもう一度水切り」などがあります。
今後ごみの減量の話や実践方法をお知らせしていきたいと考えています。

清掃センター管理課

TEL 0749 - 22 - 2734

FAX 0749 - 24 - 7787



エコ君

